

総 記

京都の地は、延暦 13 年（794 年）10 月の長岡京からの遷都以来、明治 2 年に至るまで 1075 年の長きにわたって我が国の都として栄えてきました。

首都が東京に移ってからの京都は一時衰えたものの、市民の進取の気性により、伝統を生かしながらの勸業政策や教育の改革など懸命に近代化への努力を行い発展しました。

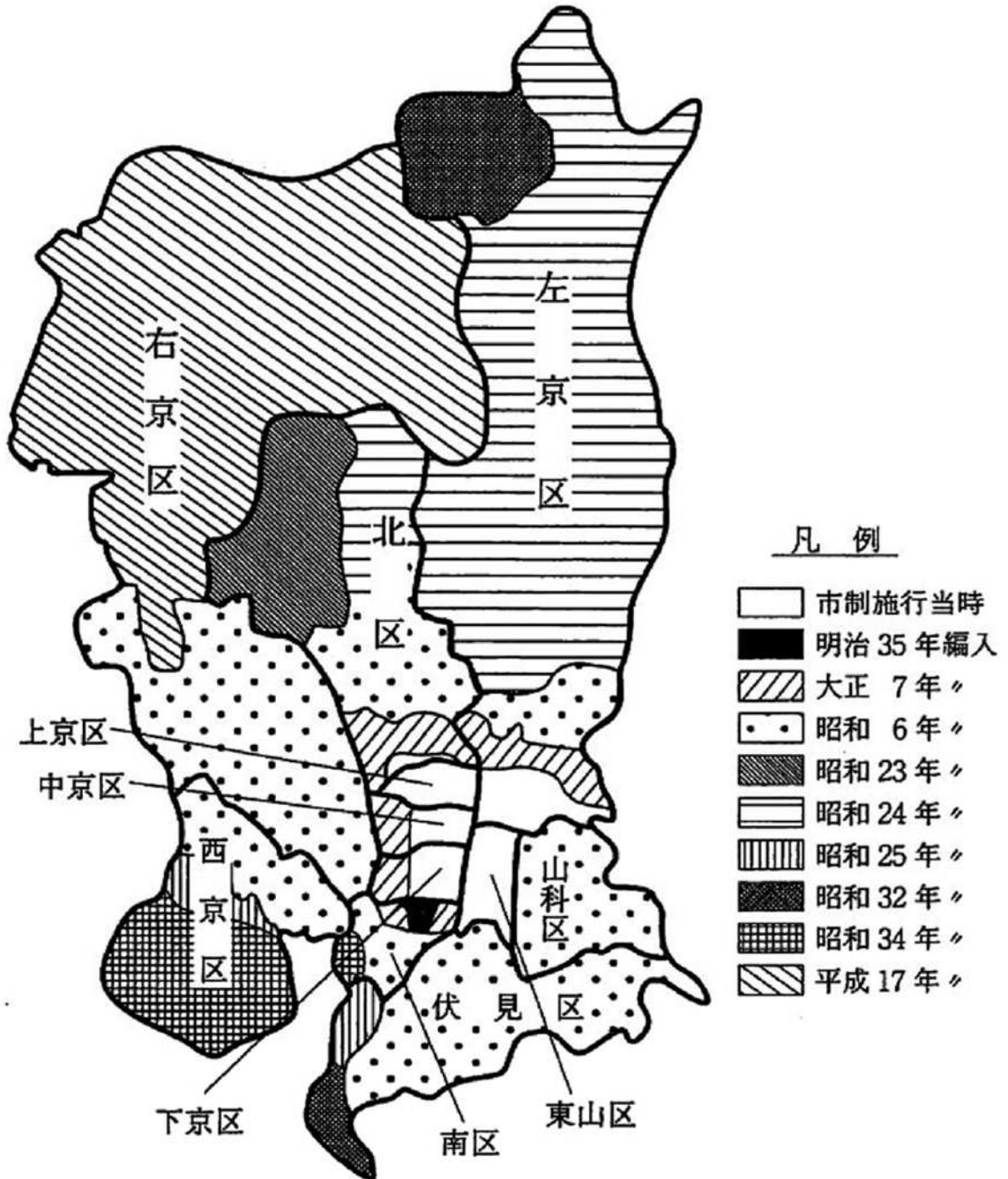
明治 22 年 4 月、市制が施行されましたが、京都市など 3 市については自治権の制限を規定した市制特例が設けられ、府知事によって職務が執行されました。翌年には、第 1 期琵琶湖疏水の完成、発電所の建設、明治 28 年には、我が国最初の路面電車の開通、平安遷都 1100 年記念事業の一つとして開催された第 4 回内国勸業博覧会等により、新しい京都の基礎が確立しました。

その後、明治 31 年 10 月には、市制特例の廃止により自治権が保障され、名実共に備わった京都市が誕生しました。

本市は、東経 135 度 33 分から 135 度 52 分、北緯 34 度 52 分から 35 度 19 分に位置し、市域面積は 827.83km²で、指定都市の中では、浜松市、静岡市、札幌市、広島市に次いで第 5 位の広さを有しています。

本市の人口は、市制施行当時は 279,165 人でしたが、明治 35 年及び大正 7 年の市域拡張もあり、第 1 回の国勢調査が行われた大正 9 年には、591,323 人と増加しました。その後も、市域の拡張等で増加を続け、昭和 14 年には戦前最高の 1,177,200 人を記録しましたが、第 2 次世界大戦による戦災を免れたものの、疎開等で人口は減少、昭和 20 年には 866,153 人となりました。戦後は急速に増加をたどり、近隣町村の合併などもあって昭和 43 年には 140 万人を突破しました。しかし、昭和 50 年代に入って増加カーブは緩やかとなり、近年は昭和 61 年の 1,479,370 人をピークに、微増の年もあるものの、全体として微減傾向にあります。なお、令和 6 年 10 月の推計人口は 1,437,377 人となっています。

市 域 図



京都市編入地域等一覧

編 入 年 月	編 入 地 域 名	編入した 区 名	編 入 区 域 の 面 積
明 治 35 年 2 月	葛野郡大内村大字東塩小路，西九条	下 京 区	1. 51 ^{km²}
大 正 7 年 4 月	愛宕郡白川村，田中村，下鴨村，鞍馬口村，野口村，上賀茂村の一部，大宮村の一部，葛野郡衣笠村	上 京 区	29. 15
	葛野郡朱雀野村，大内村，七条村，西院村の一部，紀伊郡柳原町，東九条村，上鳥羽村の一部，深草村の一部	下 京 区	
昭 和 4 年 4 月	左京区・中京区・東山区を新設		
昭 和 6 年 4 月	愛宕郡上賀茂村，大宮村，鷹ヶ峰村	上 京 区	228. 22
	愛宕郡修学院村，松ヶ崎村	左 京 区	
	宇治郡山科町	東 山 区	
	紀伊郡吉祥院村，上鳥羽村	下 京 区	
	葛野郡花園村，西院村，太秦村，梅ヶ畑村，嵯峨町，梅津村，京極村，松尾村，桂村，川岡村	右 京 区 (新設)	
	伏見市，紀伊郡竹田村，深草町，堀内村，下鳥羽村，横大路村，納所村，向島村，宇治郡醍醐村	伏 見 区 (新設)	
昭 和 23 年 4 月	葛野郡中川村，小野郷村	上 京 区	36. 66
昭 和 24 年 4 月	愛宕郡雲ヶ畑村	上 京 区	209. 85
	愛宕郡岩倉村，八瀬村，大原村，静市野村，鞍馬村，花背村，久多村	左 京 区	
昭 和 25 年 12 月	乙訓郡大枝村	右 京 区	13. 34
	乙訓郡久我村，羽束師村	伏 見 区	
昭 和 30 年 9 月	北区・南区を新設		
昭 和 32 年 4 月	北桑田郡京北町大字広河原	左 京 区	22. 00
	久世郡淀町	伏 見 区	5. 29
昭 和 34 年 11 月	乙訓郡久世村	南 区	3. 38
	乙訓郡大原野村	右 京 区	25. 73
昭 和 51 年 10 月	山科区・西京区を新設		
平 成 17 年 4 月	北桑田郡京北町	右 京 区	217. 68

注 北桑田郡京北町大字広河原編入区域の面積は概数である。

人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年	令和 2 年※	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
北	117,165	116,495	116,306	115,469	114,543
上 京	83,832	83,114	83,561	83,656	83,407
左 京	166,039	164,963	165,031	164,550	163,518
中 京	110,488	109,629	109,904	110,221	110,783
東 山	36,602	35,948	35,565	35,512	35,324
山 科	135,101	134,253	132,972	131,739	130,835
下 京	82,784	82,391	82,627	83,231	83,724
南	101,970	101,708	101,628	102,021	102,313
右 京	202,047	201,230	200,317	199,591	198,639
西 京	149,837	148,370	146,736	145,079	143,803
伏 見	277,858	275,855	274,317	272,417	270,488
合 計	1,463,723	1,453,956	1,448,964	1,443,486	1,437,377

※の年の人口は国勢調査結果、他は 10 月 1 日現在の推計人口（数値は国勢調査結果を踏まえ遡及修正済み）

世帯数推移

(各年 10 月 1 日現在)

年	令和 2 年※	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
北	57,187	57,336	58,095	58,174	58,399
上 京	48,004	47,940	49,036	49,642	50,008
左 京	85,726	85,854	87,014	87,699	88,097
中 京	60,634	60,611	61,692	62,535	63,566
東 山	20,562	20,313	20,309	20,596	20,787
山 科	64,402	64,802	64,987	65,154	65,663
下 京	48,309	48,481	49,283	50,160	51,165
南	50,485	50,994	51,865	52,846	53,807
右 京	97,849	98,391	99,284	100,091	100,895
西 京	65,082	65,088	65,034	65,047	65,376
伏 見	131,284	131,761	132,745	133,686	134,599
合 計	729,524	731,571	739,344	745,630	752,362

※の年の人口は国勢調査結果、他は 10 月 1 日現在の推計世帯数（数値は国勢調査結果を踏まえ遡及修正済み）